漁船海難月報（速報）

平成二十四年七月分

第七管区海上保安本部

なぜ減らない？漁船の衝突海難！七月の漁船衝突海難は五隻！うち四隻が見張り不十分！

衝突時、船長は船尾甲板にしゃがみ込んでいた！相手船に気づかず！

漁船A丸は船長一名が乗船し、陽射しを避けるため日よけのある船尾甲板にしゃがみ込み、自船の右舷側が確認できない姿勢で前方だけを見ながら、速力約13ノットで航行していました。このため、右側から接近してくる船に気づくことなく衝突。一方、相手船は自船の左舷前方に近づいてくる漁船を視認、汽笛で注意喚起を行ったのですが、衝突を回避するための協力動作を行うことなく航行したため漁船と衝突しました。

減らない漁船の衝突海難を防ぐために！

衝突海難等を防ぐために、出来る限りのことをするのが、操船の常識！

◆接近してくる船舶！「相手船が避けるだろう」なんて考えは甘い！早めの衝突回避や適切な協力動作をとってこそ海のプロ！！

◆船の航行状況は刻一刻と変わるもの。常時、適切な見張りを行いましょう！それでこそ海のプロ！

◆大事故が起きてから「大切なものは何だったのか」を再確認しても遅い！「安全航行が第一」！それが海のプロ！

衝突海難を防ぐために守ろう！

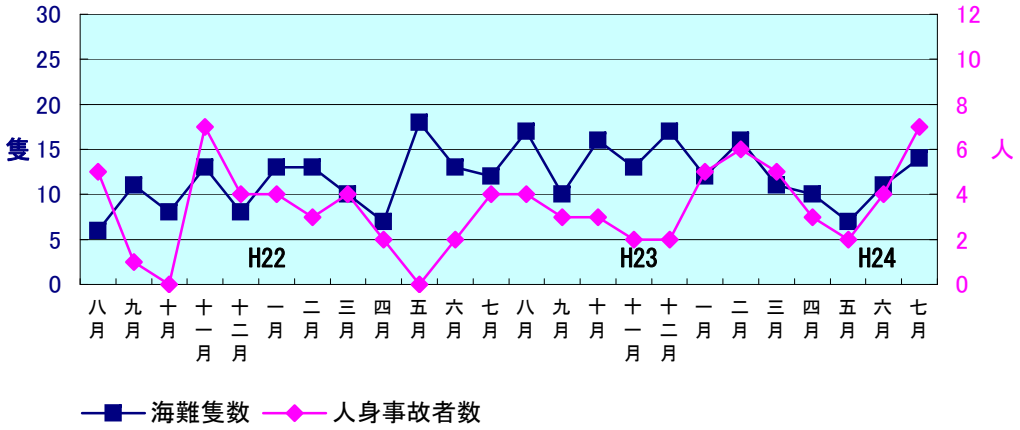
平成24年7月

漁船海難隻数（速報値）	
衝突	5
乗揚	2
転覆	1
浸水	0
推進器障害	1
舵障害	0
機関故障	0
火災	1
爆発	0
行方不明	0
運航阻害	2
安全阻害	0
その他	2
合計14隻	

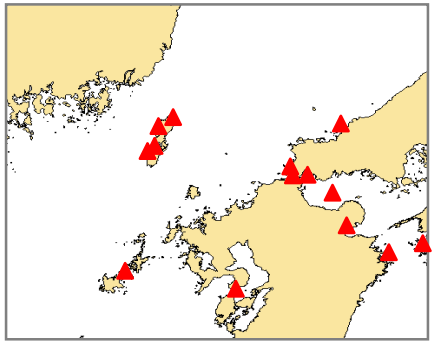
県別（内訳）	
山口県	3
福岡県	2
佐賀県	0
長崎県	5
大分県	4

漁船人身事故者数	
負傷	3
病気	1
海中転落	3
その他	0
合計7名	

漁船海難発生隻数及び漁船における人身事故者数の推移



平成24年7月
漁船海難発生地点



県別の表は、各県に所在する海上保安部署において取り扱った海難の合計数を示しています。 ※数値は速報値です。